

サ ッ カ ー〔男子〕（令和 7 年度）

兼全国及四国高校県予選

- 日時 5月31日（土）試合開始時間は組み合わせ参照
6月1日（日） 〃
6月2日（月） 〃
6月8日（日） 〃
- 会場 5月31日 6月1・2日 県総合運動公園球技場
北条スポーツセンター陸上競技場・球技場
伊予市しおさい公園
決勝 ニンジニアスタジアム（8日）
- 参加資格 令和7年度県高校総体要項参加資格による。
- 試合方法 1 トーナメント
2 試合時間は70分間とし、ハーフタイムは10分間とする。勝敗が決しないときはPK戦により決定する。ただし、準々決勝以降は、20分間の延長試合を行い、なお決しないときはPK戦により決定する。
- 競技規定 1（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
2 試合開始前に選手と9人以内の交代要員の氏名を主審に通告しておき、その交代要員のうち、6名まで主審の許可を得て交代することができる。
・選手交代は、交代回数を3回までとする。延長戦に入った際は、前後半に使用しなかった交代回数を持ち越し、持ち越した回数に1回追加された回数交代することができる。（ただし、交代枠が残っている場合に限る）
・ハーフタイムや延長戦に入る前のインターバル、延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。
・一度に複数人の交代は可能だが、試合を通しての交代人数は変わらない。
3 脳振盪による交代
・1試合において、各チームは最大1人の「脳振盪による交代」を使うことができる。
・「脳振盪による交代」は、その前に何人の交代要員が使われているかにかかわらず、行うことができる。
・交代で退いた競技者が、脳振盪による交代で再び競技者になることはできない。ただし、交代要員の数＝「通常の交代」の最大数の場合は、交代で退いた競技者でも交代可能となる。
・一方のチームが、「脳振盪による交代」を使用したならば、相手チームは、（脳振盪に限らず）いかなる理由であっても「追加の交代要員」を使うことができる。
4 本県大会中に2度警告を受けた選手は次の1試合に出場することができない。
5 退場を宣告された者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については、大会の規律委員会で決定する。

- 6 背番号は1～25のうち、20人分の正・副それぞれ異色のユニホームを用意すること。
- 7 試合開始 70 分前にユニフォームチェック・監督会議を行う。30 分前に本部へ所定のメンバー表を3部提出すること。選手証を必ず携帯すること。なお、選手証とはWEB登録システム「KICK OFF」から出力したカラーの写真貼付があり、顔の認識ができる選手証・登録選手一覧のことを示す。